

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E111B012	生活科指導法(小) (Instruction of Life Environmental Studies(elementary school))						対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態				
必修	2	2	教育学部		他	日本語		単独				
担当教員	氏名 竹中 真希子 E-mail tmakiko@oita-u.ac.jp 内線 7586											
授業の概要	生活科の教科目標および授業で取り扱う内容を理解するとともに、子どもの学習行動などの特質を理解した適切な指導方法のあり方、指導計画の作成について学ぶ。また、グループでの実践的な取り組みを通して、生活科の授業づくりの基礎的な能力を身につける。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7
目標1	生活科の意義・目標を説明できる。											
目標2	生活科の内容説明できる。											
目標3	生活科の授業のための指導方法を提案できる。											
目標4	生活科の授業のための教材研究ができる。											
目標5	生活科の授業を立案することができる。											
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
各DPへの関連度(計10)							10					
授業の内容												
1	オリエンテーションおよび生活科の意義について											
2	低学年の発達特性：幼保小の連携											
3	生活科の目標											
4	生活科の内容											
5	指導計画上の留意点と学習指導の進め方											
6	年間指導計画の立て方											
7	教材研究と単元構想にあたって											
8	授業計画について											
9	指導案作成について											
10	生活科の授業計画と授業デザイン(1)：年間指導計画の作成											
11	生活科の授業計画と授業デザイン(2)：指導案作成(1/2)											
12	生活科の授業計画と授業デザイン(3)：指導案作成(2/2)											
13	生活科の授業計画と授業デザイン(4)：模擬授業と批評(1/2)											
14	生活科の授業計画と授業デザイン(5)：模擬授業と批評(2/2)											
15	まとめと省察											
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	A.知識の構造化(構造図の作成)					工 夫 そ の 他 の	LMS(Moodle)による資料配付や情報共有 教育場面で効果を明示したICT機器の利用				
	B:意見の表現・交換	B.演習										
	C:応用志向	C.自己の学習活動に対するメタ認知行為の促進(省察)										
	D:知識の活用・創造	D.ICT機器を活用した学修と授業デザインへの活用										
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	予習：資料の精読(10h),単元構想・単元計画のための準備(15h)										
	事後学修	復習：省察(5h),本時案の作成(15h)										
	想定時間合計	45										
教科書	文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編』											
参考書	授業の中で資料を配布します。											

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	構造図	25%										
	教材研究	25%										
	単元構想・授業計画	20%										
	指導案	30%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											